

帰宅困難者対策取組企業一覧(横浜市版)

公表年度	企業等名	業種	所在地	取組事例
R2	KDDI株式会社 南関東総支社	情報通信業	横浜市西区高島1丁目1-2 横浜三井ビル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモートワークの推進</li> <li>・従業員が帰宅困難になることを想定し、3日分の飲料水、非常食等を備蓄</li> <li>・横浜三井ビル「帰宅困難者受け入れ」訓練への積極的な参加</li> </ul>
R2	一般社団法人 神奈川県 建設業協会 事務局	建設業	横浜市中区太田町2丁目 22番地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全第一</li> <li>・職員が災害や混乱に巻き込まれないようにするために、無理をせず安全な場所に避難する、止まることを原則とする。</li> </ul>
R2	横浜エフエム 放送株式会社	情報通信業	横浜市西区みなとみらい ランドマークタワー 10階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料・飲料水の確保</li> <li>・近隣の宿泊施設他の連携</li> </ul>
R2	大塚製薬 株式会社 首都圏第二 支店	製造業	横浜市西区北幸2-15-1 東武横浜第2ビル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害救援自動販売機の設置 (健康飲料と食品が入っているVM)</li> <li>・健康を考えた食料・飲料水・ビタミン剤・非常食(防災用カロリーメイト)の確保</li> <li>・従業員それぞれに非常持出袋を準備 (ヘルメットや生活必需品)</li> <li>・時差出勤</li> <li>・リモートワーク推進</li> <li>・感染症対策の徹底</li> <li>・安否確認システムの導入(iPhoneの会社支給) ※VM…Vending Machine(自動販売機)</li> </ul>
R2	株式会社 ドコモCS 神奈川支店	情報通信業	横浜市西区みなとみらい 4-7-3 横浜メディアタワー20F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員安否確認システムの運用と定期的な安否確認訓練の実施</li> <li>・EV車導入推進による停電時の電源確保</li> <li>・従業員の飲料水、非常食等の備蓄</li> <li>・ビル避難訓練への参加と自組織独自の防災訓練の実施</li> <li>・時差出勤、リモートワークの推進</li> </ul>

R3	カゴメ株式会社 神奈川支店	製造業	横浜市神奈川区金港町2-6 横浜プラザビル5F	なし
R3	トヨタエルアンド エフ神奈川株式 会社	卸売業 小売業	横浜市中区本牧十二天2-8	大災害以外でも、台風での帰宅困難者やコロナ対策の3蜜防止目的に社用車での通勤を許可しています。また、事前に台風接近が分かるときは、自宅待機を指示し、安全に配慮しています。
R3	昭和精工 株式会社	製造業	横浜市金沢区福浦1-4-2	・地元消防署の協力の下、防災及びAED訓練の実施 ・従業員が帰宅困難になることを想定し、3日分の飲料水、非常食を備蓄
R3	神奈川県 生活協同組合 連合会	サービス業 (他に分類されないもの)	横浜市港北区新横浜2-6-13 新横浜ステーションビル9階	県内会員生協へ帰宅困難者対策チェックシートを照会し、登録を広くよびかけます。
R3	生活協同組合 ユーコープ	卸売業 小売業	横浜市中区桜木町一丁目 1番地8	・正規職員・パート職員全員を対象に年4回(1月、3月、6月、9月)安否確認訓練を実施しています。 ・毎年9月に首都直下地震発災を想定し、BCPに基づいた災害対策本部立ち上げ訓練・シェイクアウト訓練を行っています。 ・各事業所で帰宅困難となった際の食料と水を備蓄しています。

R3	一般社団法人 日本塗装 工業会 神奈川県支部	分類不能の 産業	横浜市磯子区中原1-2-31	<ul style="list-style-type: none"><li>・帰宅困難な事態が生じた場合、事務所内に留まれるスペースを確保している。</li><li>・職員用として3日分程度の備蓄食料と長期保存可能な飲料水を準備している。備蓄食料は温めて食べられる機能があるものを準備している。</li></ul>
----	---------------------------------	-------------	----------------	---